



〔首都圏での有機農産物の販売〕

米沢市における有機農業推進と取組について

～ これまでの取組と今後の拡大方策について～

2024年8月6日

米沢市産業部農政課 赤木 博幸

はじめに



〔生き物調査の様子〕

米沢市の紹介

米沢市の概要

(1)位置

山形県の最南端に位置し、「最上川」の源である吾妻連峰の裾野に広がる米沢盆地に位置し、福島県と県境を接しています。



(2)気候や自然

夏暑く冬寒い、季節の移り変わりがはっきりとした気候です。また、吾妻の山々には豊富な温泉群があるほか、夏山登山やスキーなどが手軽に楽しめる「自然の恵み豊かな都市」です。

米沢市の概要

(3) 農業・特産品

気温の変化が大きく山形県内でも有数な多雪地帯であるという地域の特性を活かし、古くから米どころとして産地を形成してきました。そして、水稻と野菜、果樹、畜産等を組み合わせた複合農業を展開しています。

本市には、この地域特性や地域資源を活かした多くの特産品があります。



つや姫



米沢牛



雪菜



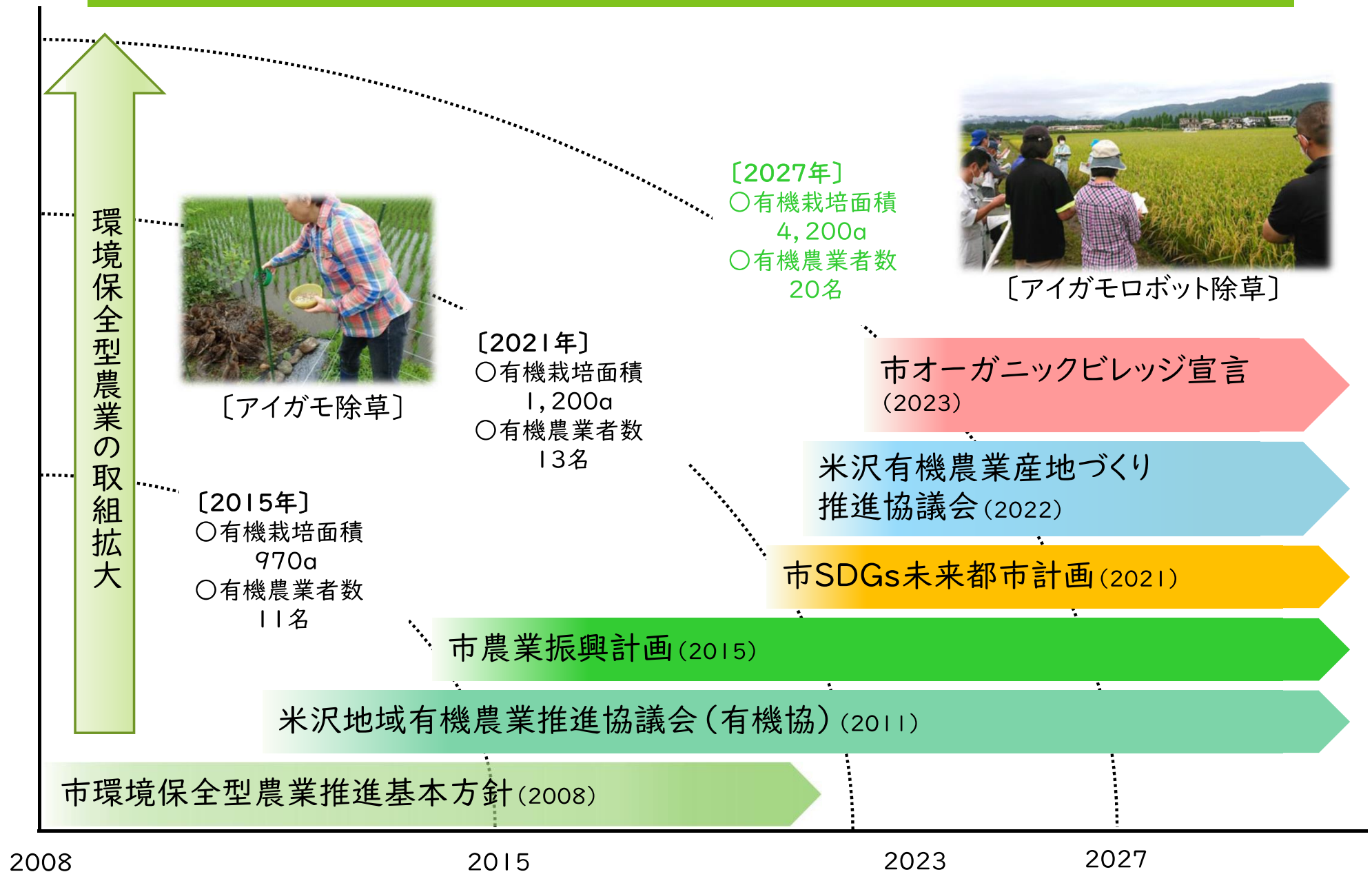
小野川豆もやし



〔米沢オーガニックフェスタ(2017)〕

これまでの取組について

環境保全型農業に関する方針、計画等の策定状況





〔有機栽培米の学校給食への提供〕

米沢有機農業産地づくり推進協議会の取組

～ 米沢市有機農業実施計画 ～

米沢市有機農業実施計画

背景

- ・近年の有機農産物及びその加工品に対するニーズの高まり
- ・地球温暖化防止や生物多様性の保全に関する取組の推進



有機農業の取組拡大

有機農業の取組拡大への課題

〔生産〕

- ・新規取組者をはじめとした技術の取得
- ・栽培技術の省力化・低コスト化
- ・栽培品目の拡大

〔消費・流通〕

- ・消費者の理解醸成
- ・販路の開拓
- ・加工品の開発
- ・栽培品目の拡大 ※再掲

〔計画の目的〕 米沢市における有機農業の更なる発展

〔計画の位置付け〕 「米沢市農業振興計画」及び「みどりの食料システム戦略」「山形県みどりの食料システム基本計画」と連動した環境に配慮した農業に取り組む計画として位置付け

〔計画の期間〕 令和5年度から令和9年度までの5か年

推進目標（令和9年度）

- 有機農業取組面積 : 12ha (R3) ⇒ 42ha
- 有機農産物販売数量: 56.8t (R3) ⇒ 207t
- 有機農業者数 : 13名 (R3) ⇒ 20名

取組内容

- 生産拡大の取組
 - ・新規取組者を対象にした栽培技術研修会の開催
 - ・機械化やスマート農業の導入に関連する研究事例と支援事業等の情報共有
- 流通・加工拡大の取組
 - ・有機農産物を使用した加工品の開発
 - ・ECサイトに関する研修会の開催
- 消費・販路拡大
 - ・直売所での販売・飲食イベントによる情報発信
 - ・小中学校や特別支援学校、保育園等への有機農産物の提供

米沢有機農業産地づくり推進協議会

【目的】

米沢市における有機農業をはじめとした環境保全型農業拡大及びその発展に向け、生産・加工、流通・販売、学術機関等幅広い分野の関係団体が連携し、推進方策の具体的な検討と事業の円滑な実施に向けた管理を行う。

生産・加工

〔生産〕

- ・先駆的な有機農業者等による指導体制の構築
- ・新たな栽培技術導入に向けた検証
- ・次世代を担う担い手の確保

〔加工〕

- ・有機農産物の加工品試作

【目標（令和9年度）】

- 有機栽培面積 12ha (R3) ⇒ 42ha
- 有機栽培実践者 13名 (R3) ⇒ 20名
- 有機農産物の販売量 56,750kg ⇒ 207,000kg



指導・調査・研究

〔指導〕

- ・先駆的な有機農業者と連携した技術指導
- ・新たな栽培技術の検証に向けた協力（機械関係も含む）
- ・交付金事業の円滑な推進に向けた助言

〔調査・研究〕

- ・有機農産物等の活用方法の検討



消費・流通

〔消費〕

- ・高感度層を顧客に持つ飲食店・旅館などでの有機農産物等の利用
- ・学校給食や保育園給食への導入

〔流通〕

- ・全国的な商談会への出展による販路拡大推進
- ・有機農産物販売コーナーの設置

「生産・加工」のプレイヤー

〔生産〕

- ・先駆的な有機農業者等による指導体制の構築
有機農産物の生産拡大

⇒ **有機農業の先駆的生産者**

米沢地域有機農業推進協議会

山形おきたま農業協同組合

- ・新たな栽培技術導入に向けた検証

⇒ **山形ノーカーズ、(株)南東北クボタ**

- ・次世代を担う担い手の確保

⇒ **山形ノーカーズ**

米沢地域有機農業推進協議会

〔加工〕

- ・有機農産物等の加工品の試作

⇒ **(株)愛とパン、道の駅米沢農産物
加工施設、今野味噌醤油醸造店など**



〔有機小麦実証圃〕



〔有機たまねぎ実証圃〕

「消費・流通」のプレーヤー

〔消費〕

- ・高感度層を顧客に持つ飲食店・旅館などでの有機農産物等の利用

⇒ 温泉米沢八湯会、上杉伯爵邸

- ・学校給食や保育園給食への導入

⇒ NPO法人食育ママ、置賜地産地消の会、
米沢市子育て支援課・健康課・学校教育課



〔有機生産者による講話〕

〔流通〕

- ・全国的な商談会への出展による販路拡大推進

⇒ 米沢青果商業組合、米沢総合卸売センターなど

- ・有機農産物販売コーナーの設置

⇒ 道の駅米沢、米沢愛菜館出荷組合、(有)岩瀬商店



「指導・調査・研究」のプレイヤー

〔指導〕

- ・先駆的な有機農業者と連携した技術指導
⇒ **県農業技術普及課、(有機協など)**
- ・新たな栽培技術の検証に向けた協力
⇒ **県農業技術普及課、(株)南東北クボタ、
山形おきたま農業協同組合**
- ・交付金事業の円滑な推進に向けた助言
⇒ **県農業振興課**

〔調査・研究〕

- ・有機農産物等の活用方法調査、助言
⇒ **県立米沢栄養大学、山形大学農学部**



〔チェーン除草(人力)〕



〔機械除草〕



令和4年度の主な取組

- ・ 先進地視察
 - ⇒ 有機栽培先進地（千葉県山武市）
学校給食先進地（千葉県いすみ市）
- ・ 玉ねぎ、小麦の有機栽培実証圃の設置
 - ⇒ 令和4年度及び令和5年度の2か年で実施
- ・ 全国商談会、首都圏でのマルシェ出展を通じたPR
 - ⇒ オーガニックライフスタイルEXPO2022
くらすべ山形！移住・交流マルシェ
- ・ 市内全小中学校の学校給食への有機栽培米提供
- ・ 市内直売所での有機農産物コーナーの設置

令和4年度の主な取組

検討会の開催 担い手確保



先進地視察

担い手確保策



オーガニックライフスタイルEXP02022

有機農産物の 消費拡大



学校給食への
有機農産物提供事業



栽培実証圃(玉ねぎ)



くらすべ山形！移住・交流マルシェ



有機農産物コーナー設置

令和5年度の主な取組

- ・ 有機栽培実証圃で栽培した玉ねぎ、小麦の収穫等
- ・ 栽培技術研修会
⇒ 有機栽培圃場研修、BLOF理論勉強会
- ・ ECサイト等導入に関する流通研修会
- ・ 加工品開発（パン、お菓子、有機大豆を使った味噌）
- ・ 市内小中学校の学校給食への有機農産物等の提供
- ・ 有機農産物等のマルシェ開催
- ・ 消費者講演会

令和5年度の主な取組

担い手確保策



新規栽培者向け技術研修会

有機農産物の 流通拡大



加工品開発(味噌)

有機農産物の 消費拡大



学校給食への
有機農産物提供事業



栽培実証圃(玉ねぎ)



流通研修会



マルシェ開催

令和4年度、令和5年度を通じて・・・

(主な課題)

- ・既存の有機農業者だけでは、面積拡大に限界がある。
⇒拡大するためには、新規栽培者を増やす必要がある。
- ・有機栽培者の経験や勘によるところが大きいため栽培技術が継承されにくい。
- ・慣行栽培と比較し、除草など栽培に手間がかかる反面、収量が少ない。
⇒省力化や収量向上を実現する栽培方法の確立、習得
- ・取引が先か作付拡大が先か。
- ・個々での販路開拓となっているため広がらない。

令和6年度の主な取組

- ・ BLOF理論実証圃の設置及び研修会開催
⇒ 水稻、野菜（さつまいも、人参）を対象に検証
- ・ 栽培者募集用Webページへの改修
- ・ 個別商談会の開催
⇒ 有機栽培者の栽培規模にあわせた実需者との
マッチング
- ・ 学校給食への有機農産物提供の定着化
⇒ 農産物提供を通じた流通における課題の把握
栄養教諭との意見交換を通じた利用者側の課題の把握

最後に……

米沢市における有機農業の取組を拡大させるためには

- 関係機関の役割分担を明確にし、計画に取り組む
- 周辺市町との連携を視野に入れながら、「点から面」の取組へと拡大させる

